

信州大学医学部附属病院または昭和伊南病院 整形外科に通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年7月11日

「低亜鉛血症を伴う骨粗しょう症患者さんの骨密度に及ぼすノベルジン投与の影響に関する研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4412
研究課題名	低亜鉛血症を伴う骨粗しょう症患者さんの骨密度に及ぼすノベルジン投与の影響に関する研究
所属(診療科等)	整形外科
研究責任者(職名)	中村幸男(講師)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2024年7月1日
研究の意義、目的	骨粗鬆症患者における血清亜鉛濃度を調査し、低亜鉛血症に対して亜鉛補充が骨量に及ぼす影響を評価することを目的とします。この研究により亜鉛補充が骨の量を増やすかどうかを解明することに寄与すると考えます。
対象となる患者さん	2015年3月1日から2017年3月1日の期間に当院または共同研究機関で骨粗鬆症、低亜鉛血症について医療を受けられた女性
利用する診療記録／検体	低亜鉛血症、年齢、性別、既往歴、骨密度と骨代謝マーカー、と血液
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	パスワードを設定した電子メールにより提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、骨粗鬆症、血清亜鉛濃度と各種診療記録との関係性の有無について検討します
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	信州大学(責任者:中村幸男)、昭和伊南病院(責任者:城倉雅次)、
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:中村幸男
問い合わせ先	氏名(所属・職名):中村幸男(信州大学整形外科・講師) 電話:0263-37-2659

**【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。**

**患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。**

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。